

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果 京都市立伏見板橋小学校

4月17日に、本校6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、結果がまとめられました。本調査は、国語・算数・理科の3教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力の関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

国語科より

全体的によくできています。特に、「自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうかをみる」問題は全国よりも正答率が高かったです。普段から、話し合いの中で意図や目的を意識して発言するといった学習活動に取り組んでいることの成果が、よく表れています。

一方で、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」問題の正答率が低くなっています。漢字の読み書きを覚えるだけでなく、実際の文章の中で正しく使えるようになることが重要です。そのためにも、日常の学習や実践を通じて漢字の意味や用法を理解し、文脈の中で正しく漢字を使っていくために、作文や読書の時間などの日常の取組が大切です。

算数科より

全体的によくできています。特に「データの活用」「図形」領域や、「思考・判断・表現」「記述式」問題でも全国平均を大きく上回っています。

一方、気になるところは、「異分母の分数の加法の計算をすることができるかどうかをみる」問題の正答率が低くなっています。児童が「なぜ通分が必要なのか」「どのように計算を進めるのか」を自分の言葉で説明できるような学習活動を取り入れ、思考を深めることが大切です。

理科より

全体として全国平均をやや上回る成果を示しています。特に「エネルギー」「粒子」「地球」領域では全国を上回る正答率となっており、観察・実験の基礎的な力が身についています。

一方で、「生命」領域や「記述式」問題では全国平均を下回る設問もあり、理由や考えを自分の言葉で説明する力の育成が今後の課題です。日常の学習や観察活動の中で、根拠をもって自分の考えを述べる場面を増やし、論理的な説明力を高めていくことが大切です。

全体を通した本校の成果と課題

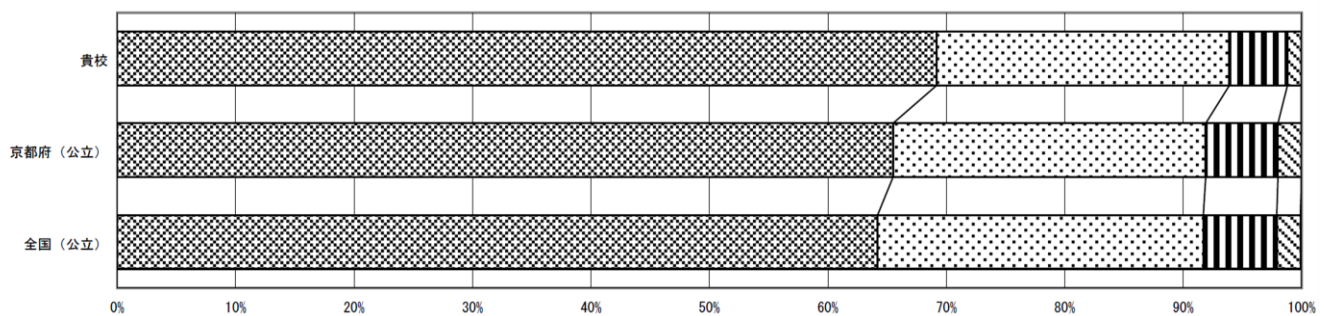
本校では、「夢をもち 未来を創る 子どもの育成」という学校教育目標のもと、目指す子ども像を「考え判断し実行する子」として掲げています。児童に身につけさせたい資質・能力を「自己指導能力」（その時、その場で、どのような行動をとることが適切であるか自分で判断して行動できる力）や「自分で調整する力」と定め、保護者や地域の皆様のご協力をいただきながら、教職員が一丸となって日々の教育活動に取り組んでいます。

子どもたちが自ら課題を見つけ、主体的に学び、問題解決に向かう姿をイメージし、GIGA端末も積極的に活用しながら、魅力的な学習の構築に努めています。学習は、30分でも1時間でも自ら取り組む、その積み重ねが大切です。こうした日々の積み重ねを通して、子どもたちが自分の力で未来を切り拓いていけるよう、今後も意識を高く持ち、学びを進めていきたいと考えています。

児童質問紙調査から その1

Q 友達関係に満足していますか。

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた本校児童の割合は、94%あまりで、全国平均を上回っています。日々の授業の中で、生徒指導の実践上の4つの視点（**自己存在感の感受、自己決定の場の提供、共感的な人間関係の育成、安心・安全な風土の醸成**）を意識して取り組んできた結果だと感じます。

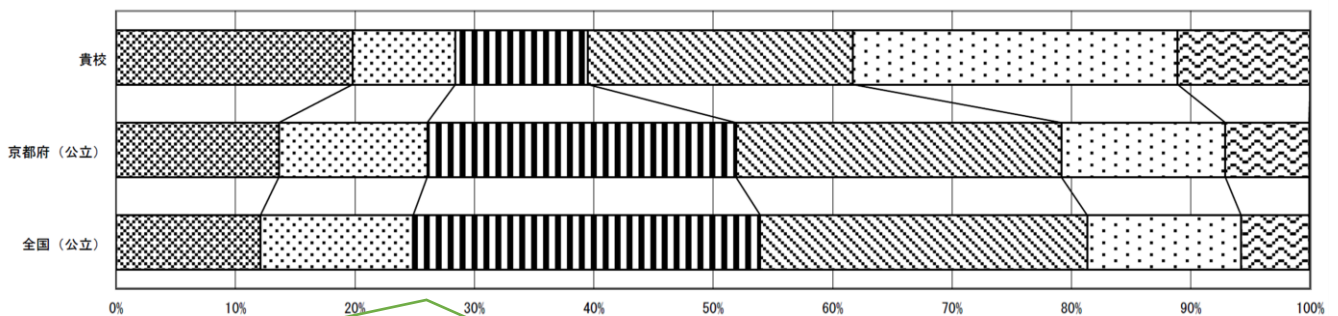
今後も、子どもたちが、友達と過ごす時間を大切にしながら学校での学びの時間を充実したものにしてほしいです。

児童質問紙調査から その2

Q 学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間勉強をしていますか。

（塾・家庭教師含む）

□1. 3時間以上 □2. 2時間以上、3時間より少ない □3. 1時間以上、2時間より少ない □4. 30分以上、1時間より少ない □5. 30分より少ない □6. 全くしない ■その他 □無回答



授業以外で「1日3時間以上勉強する」と答えた本校児童の割合は、全国平均と比べて上回っている一方で、「30分より少ない」「全くしない」と回答した児童の割合は全国平均より多く、家庭学習の実践に課題があります。中学校への進学に向けて、GIGA端末も活用しながら自主学習の意識を高めてほしいところです。

保護者の皆様へ

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものです。引き続き、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。